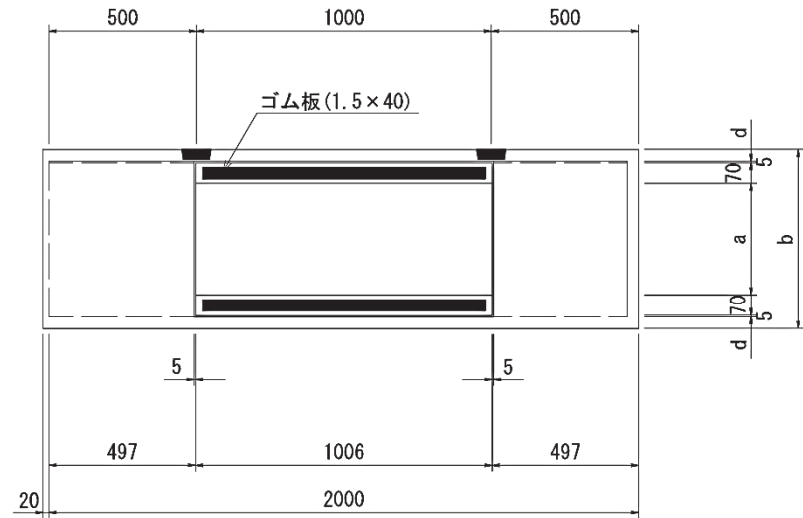
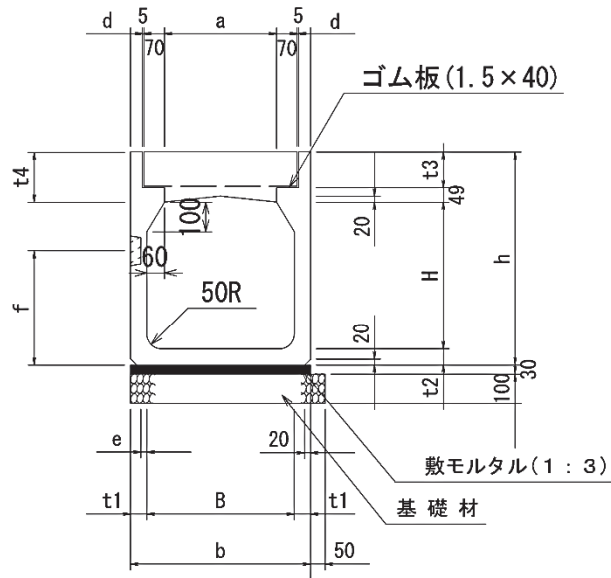


【側溝規格図】

F S型側溝（F型）



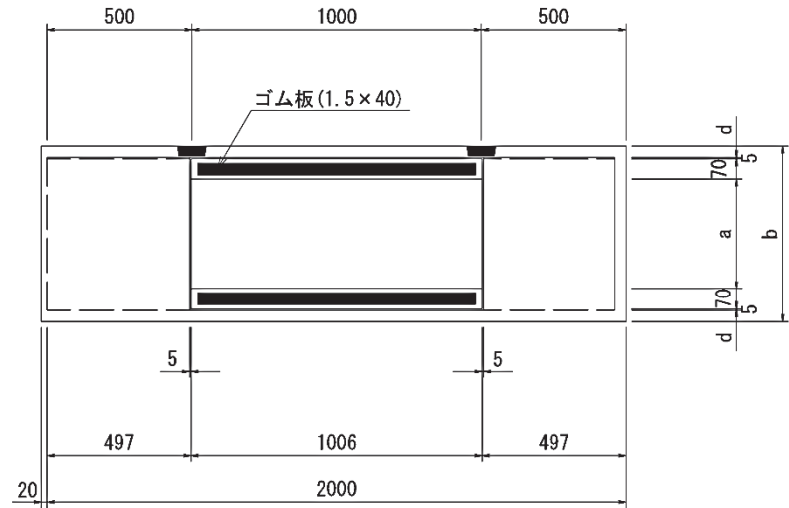
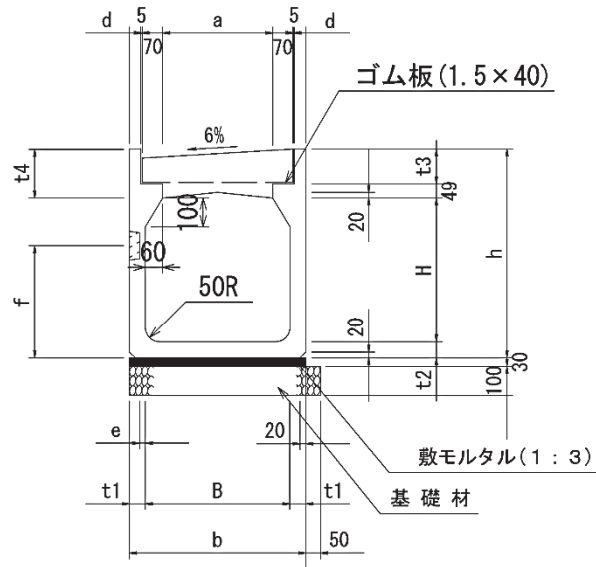
10m当り

種別 (B×H)	寸法表										材料表			摘要	
	b	h	t1	t2	t3	t4	a	d	e	f	側溝		敷モルタル (m ³)		基礎材 (m ³)
											(個)	(kg/個)			
FS(F)-300×300	400	500	50	50				35		190	5	457	0.120	0.45	
FS(F)-300×400	400	600	50	50			35	20	290	502		0.120	0.45		
FS(F)-300×500	410	705	55	55	101	150	180	40	390	594		0.123	0.46		
FS(F)-300×600	420	810	60	60				45	490	697		0.126	0.47		
FS(F)-400×400	500	610	50	50				35	290	577		0.150	0.55		
FS(F)-400×500	510	715	55	55	111	160	280	40	390	668		0.153	0.56		
FS(F)-500×500	610	725	55	55	121	170	380	40	390	751		0.183	0.66		

基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。

※F S型側溝は10m（5本）当り10枚（L=500mm/枚）を別途計上するものとする。

F S型側溝（L型）



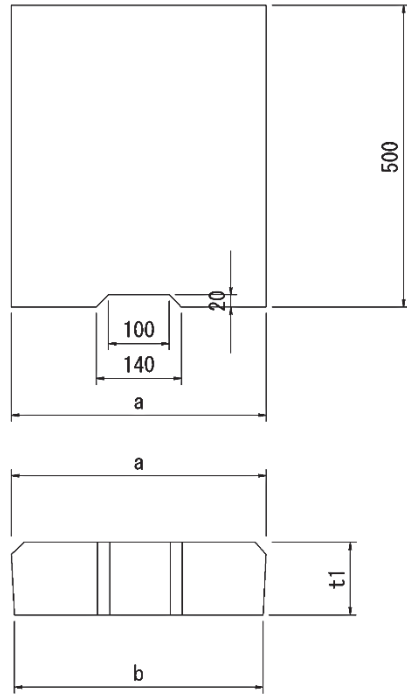
種別 (B×H)	寸法表										材料表			摘要	
	b	h	t1	t2	t3	t4	a	d	e	f	側溝		敷モルタル (m ³)		基礎材 (m ³)
											(個)	(kg/個)			
FS(L)-300×300	400	500	50	50	101	150	180	35	20	190	5	457	0.120	0.45	
FS(L)-300×400	400	600	50	50				35		290		502	0.120	0.45	
FS(L)-300×500	410	705	55	55				40		390		594	0.123	0.46	
FS(L)-300×600	420	810	60	60	45	490	697	0.126	0.47						
FS(L)-400×400	500	610	50	50	111	160	280	35	20	290		577	0.150	0.55	
FS(L)-400×500	510	715	55	55				40		390		668	0.153	0.56	
FS(L)-500×500	610	725	55	55				121		170		380	40	20	390

基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。

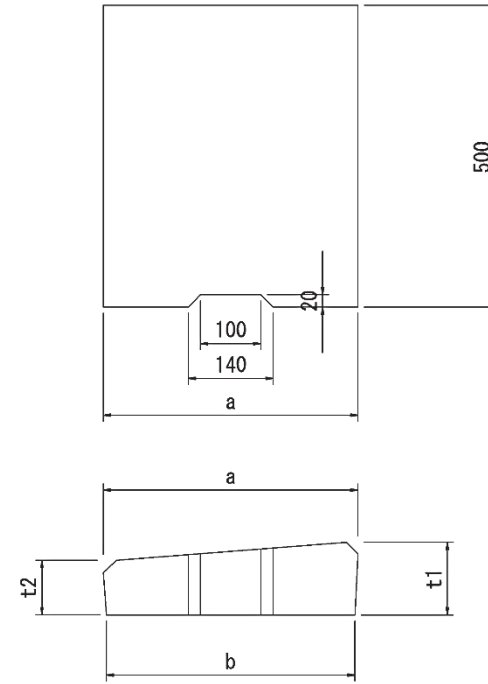
※F S型側溝は10m（5本）当たり10枚（L=500mm/枚）を別途計上するものとする。

F S 型側溝用 R C 蓋

1 型



2 型



10m当り

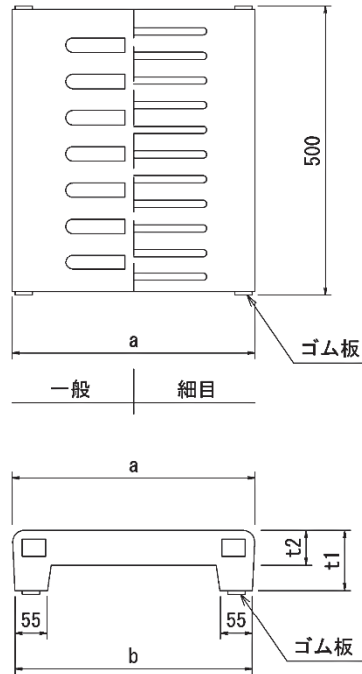
種 別	寸 法 表			材 料 表		摘 要
	a	b	t1	側 溝 蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
B-300	320	310	100	20	38	
B-400	420	410	110		55	
B-500	520	510	120		74	

10m当り

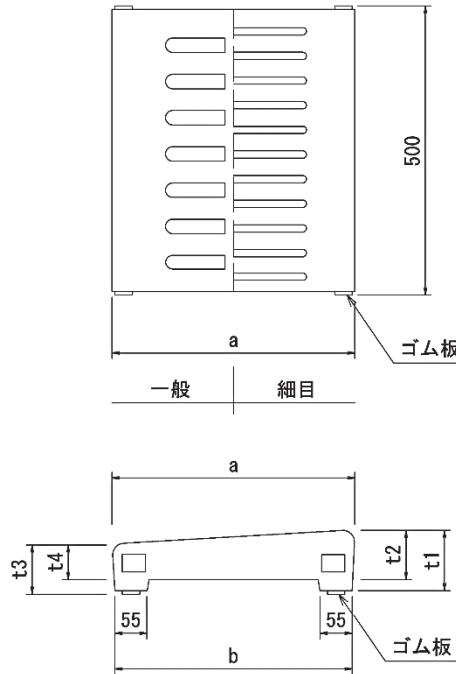
種 別	寸 法 表				材 料 表		摘 要
	a	b	t1	t2	側 溝 蓋		
					(枚)	(kg/枚)	
B-300	320	310	100	80	20	34	
B-400	420	410	110	85		49	
B-500	520	510	120	90		65	

F S 型側溝用レジン蓋

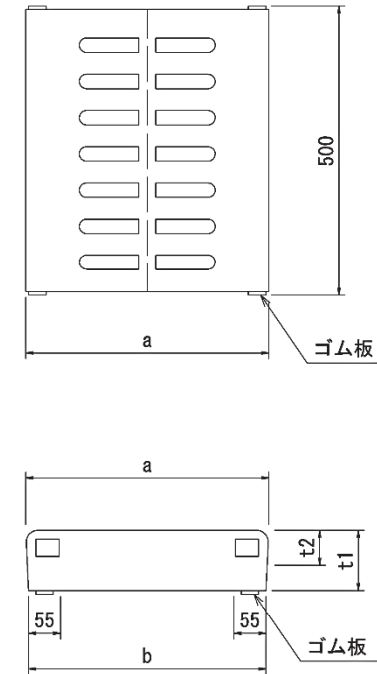
1 型



2 型



3 型 (横断用)



10m当り

種 別	寸 法 表				材 料 表		摘 要
	a	b	t1	t2	側 溝 蓋		
					(枚)	(kg/枚)	
B-300	320	310	100	50	22(24)	()は	
B-400	420	410	110	60	31(33)	細目	
B-500	520	510	120	70	40(42)		

10m当り

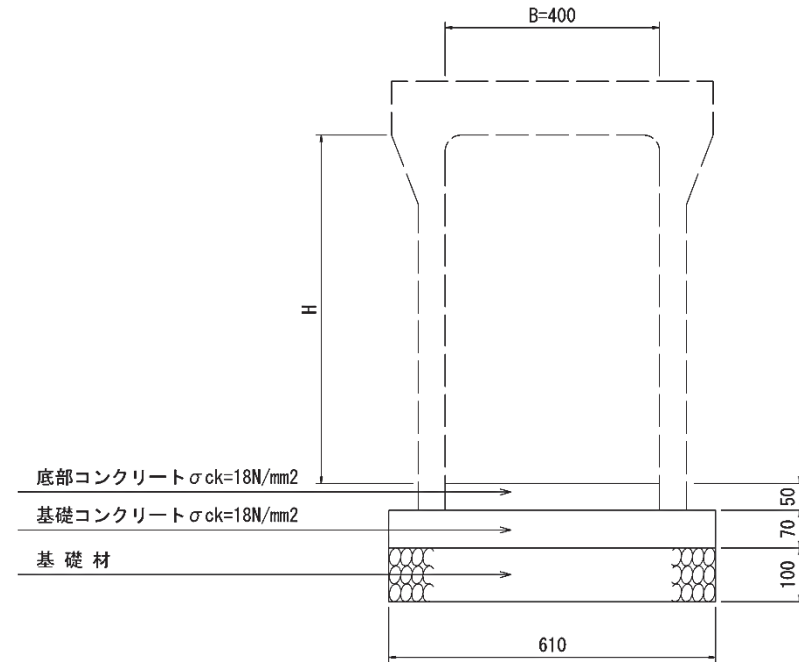
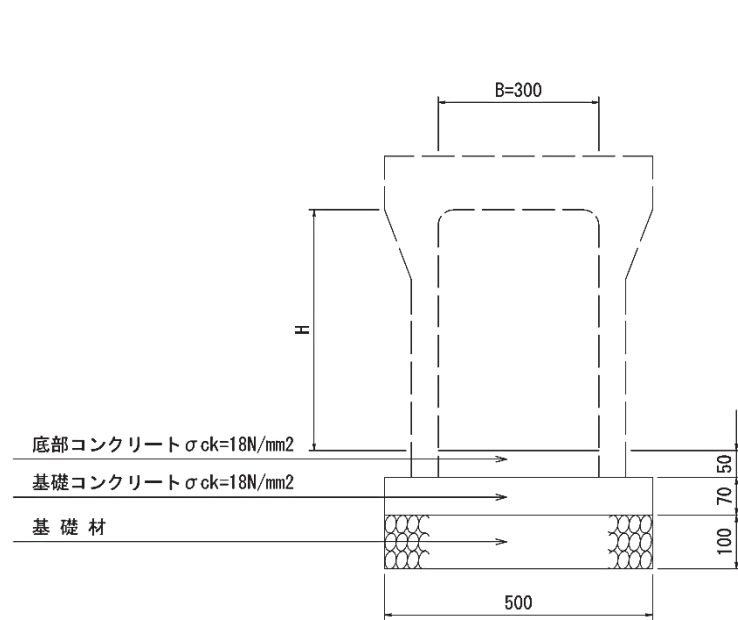
種 別	寸 法 表						材 料 表		摘 要
	a	b	t1	t2	t3	t4	側 溝 蓋		
							(枚)	(kg/枚)	
B-300	320	310	100	70	80	50	24(26)	()は	
B-400	420	410	110	85	85	60	32(34)	細目	
B-500	520	510	120	100	90	70	42(44)		

10m当り

種 別	寸 法 表				材 料 表		摘 要
	a	b	t1	t2	側 溝 蓋		
					(枚)	(kg/枚)	
B-300	320	310	100	50	22		
B-400	420	410	110	60	31		
B-500	520	510	120	70	40		

歩道部には細目タイプを使用する。(3型除く)

自由勾配側溝



10m当り

種別 (呼び名) (B×H)	材 料 表					摘 要
	側 溝 (個)	底部コンクリート (m ³)	基礎コンクリート (m ³)	基礎型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	
300×300	5	0.15	0.35	1.40	0.50	
300×400						
300×500						
300×600						
300×700						
300×800						
300×900						
300×1000						

10m当り

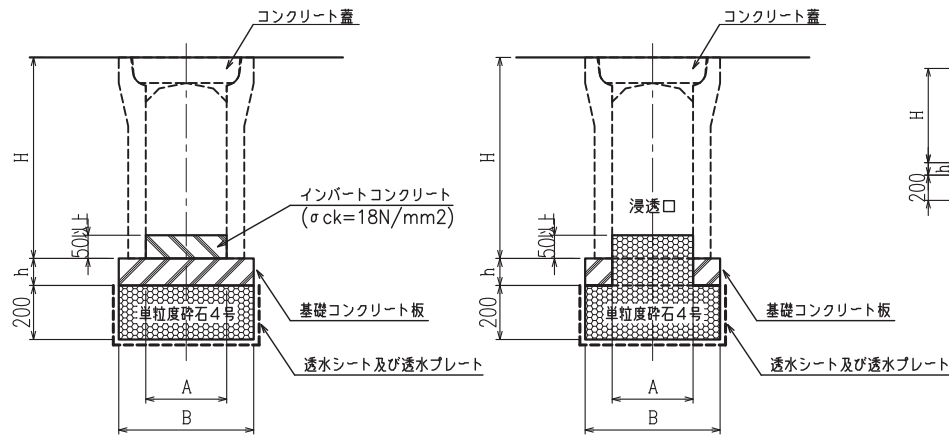
種別 (呼び名) (B×H)	材 料 表					摘 要
	側 溝 (個)	底部コンクリート (m ³)	基礎コンクリート (m ³)	基礎型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	
400×400	5	0.20	0.43	1.40	0.61	
400×500						
400×600						
400×700						
400×800						
400×900						
400×1000						

基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。

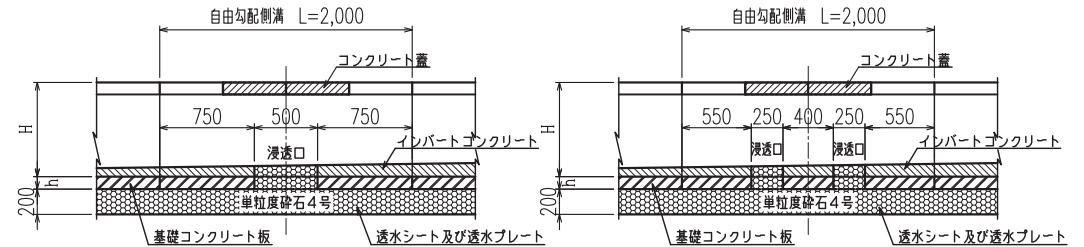
製品形状は代表的な形状を示すもので、採用にあたっては、監督員と協議のうえ決定する。

浸透側溝（自由勾配型）

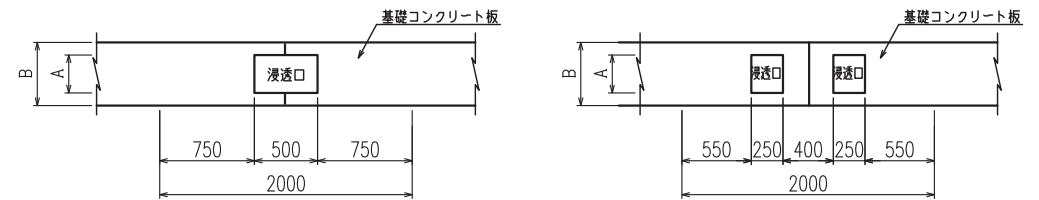
断面図



側面図
(参考図)



コンクリート基礎板構造図
(参考図)

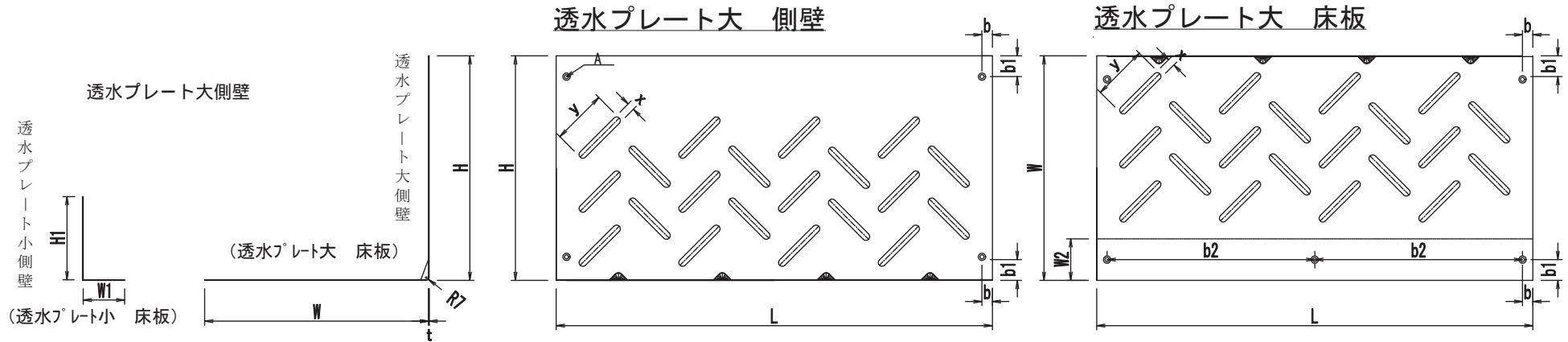


10m当り

呼び名	寸法表			摘要
	A (mm)	B (mm)	h (mm)	
300	300	550	70	
400	400	660	85	
500	500	790	100	

側溝延長 2 mごとに50cmの浸透部を設置することを標準とする。
 なお、浸透部は、側溝蓋の真下にするを原則とする。
 透水シートの透水係数は、 $1.0 \times 10^{-2}(\text{m/s})$ 以上とする。
 また、シートの幅5cm当たりの引っ張り強さは294(N)以上とする。
 透水シート、透水プレートの継ぎ目は、50mm以上被らせること。

浸透側溝用透水プレート (参考図)



各種寸法表

規格 (mm)	L	H	W	W1	W2	H1	x	y	x1	y1	A(φ)	b	b1	b2
300	1050	540	540	100	100	200	18	133	18	138	10	25	50	500
400	1050	650	670	100	100	200	18	133	18	138	10	25	50	500
500	1050	770	800	100	100	200	18	133	18	138	10	25	50	500

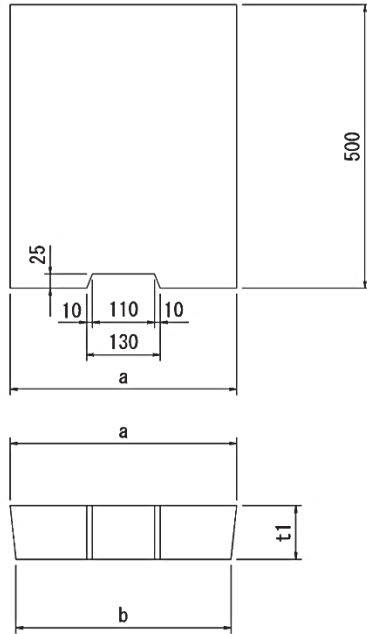
各種面積／開口率

種 別	面積 (㎡)	開口箇所	開口面積 (㎡)	開口率 (%)
300	側 壁	0.567	20	0.046
	床 板	0.567	20	0.046
400	側 壁	0.703	26	0.059
	床 板	0.682	24	0.055
500	側 壁	0.840	30	0.069
	床 板	0.808	24	0.069
透水プレート小側壁	0.210	7	0.016	8.00

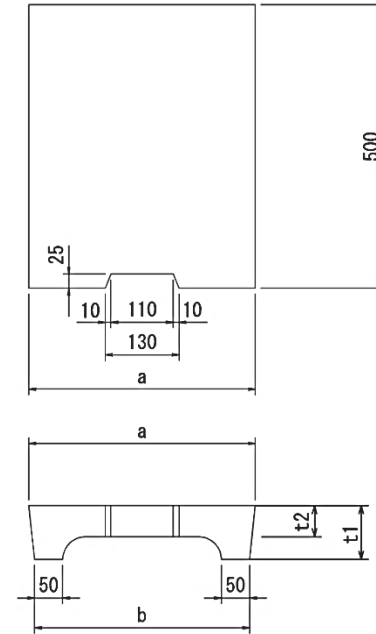
透水プレートの開口率は、側面部・底面部ともに8.0(%)以上とする。

自由勾配側溝用コンクリート蓋

F H 型



F I 型



10m当り

種別	寸法表			材料表		摘要
	a	b	t1	側溝蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
B-300	400	380	95	20	41	
B-400	500	480	110		60	

10m当り

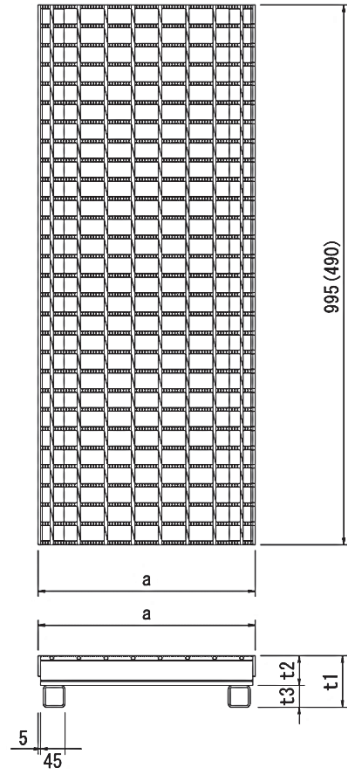
種別	寸法表				材料表		摘要
	a	b	t1	t2	側溝蓋		
					(枚)	(kg/枚)	
B-300	400	380	95	55	20	30	
B-400	500	480	110	65		43	

製品形状は代表的な形状を示すもので、採用にあたっては監督員と協議のうえ決定する。

F H型は車道用、F I型は歩道用を使用する。

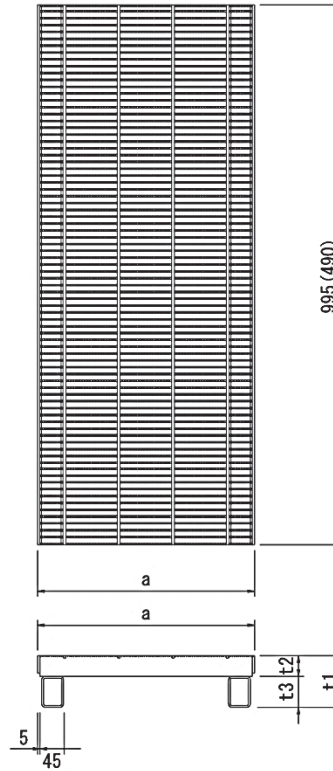
自由勾配側溝用グレーチング蓋

一般



種 別	寸 法 表				材 料 表	摘 要	
	a	t 1	t 2	t 3	側溝蓋 (枚)		
T-25	B-300	400	95	55	40	10	()は0.5m用
	B-400	500	110	75	35	(20)	
T-6	B-300	400	95	38	57	10	
	B-400	500	110	44	66	(20)	

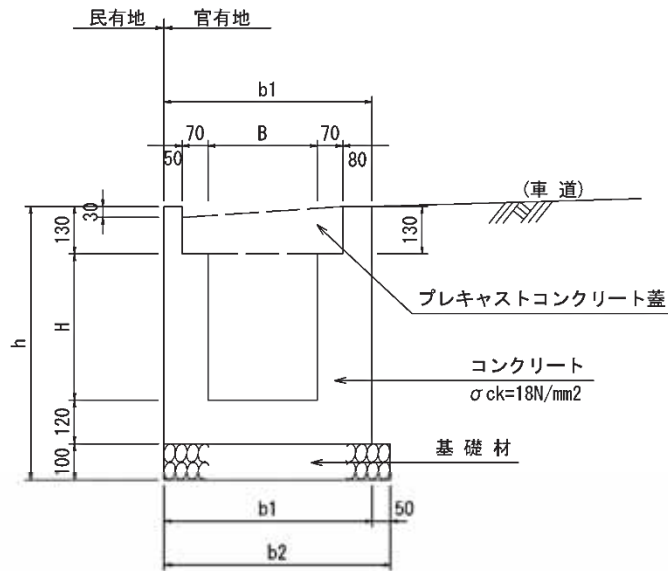
細目



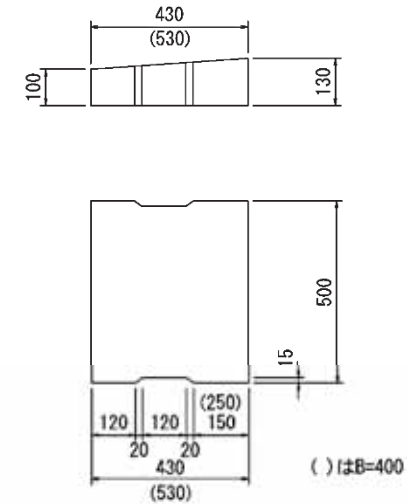
種 別	寸 法 表				材 料 表	摘 要	
	a	t 1	t 2	t 3	側溝蓋 (枚)		
T-25	B-300	400	95	38	57	10	()は0.5m用
	B-400	500	110	50	60	(20)	
T-6	B-300	400	95	32	63	10	
	B-400	500	110	38	72	(20)	

G I 型は一般用グレーチング蓋、G 2 型は細目グレーチング蓋を使用する。

U B 型 側 溝



プレキャストコンクリート蓋 (FB1)



種 別 (B×H)	寸 法 表			材 料 表				備 考	
	b 1	b 2	h	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	側 溝 蓋		
							(枚)		(or/枚)
UB-300×250	570	620	600	1.53	20.00(15.00)	0.62	20	60	
UB-300×300			650	1.66	22.00(16.50)				
UB-300×350			700	1.80	24.00(18.00)				
UB-300×400			750	1.93	26.00(19.50)				
UB-300×450			800	2.07	28.00(21.00)				
UB-300×500			850	2.20	30.00(22.50)				
UB-400×400	670	720	750	2.05	26.00(19.50)	0.72	20	75	
UB-400×500			850	2.32	30.00(22.50)				

民地と車道境界に使用。

基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。

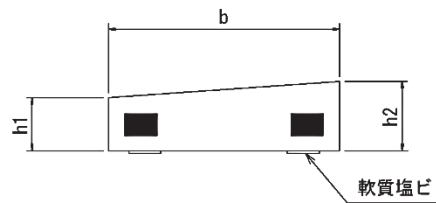
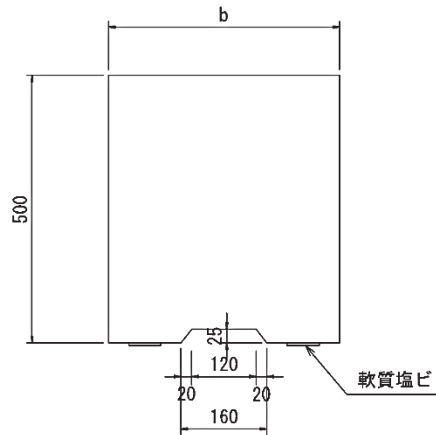
伸縮目地（エラストイト）を20m程度に1箇所設ける。

H=500以上は国土交通省制定「土木構造物標準設計」を使用すること。

吊上げ金具付のコンクリート蓋を10mに1箇所設ける。

騒音防止コンクリート蓋

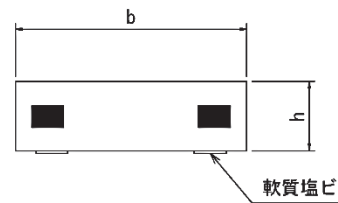
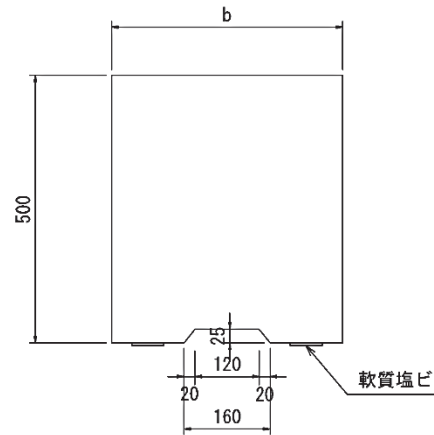
2 型



10m当り

種別	寸法表			材料表		摘要
	b	h1	h2	側溝蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
B-300	430			20	60	
B-400	530	100	130		75	
B-450	580				82	
B-500	630				104	
B-600	730	120	150		121	

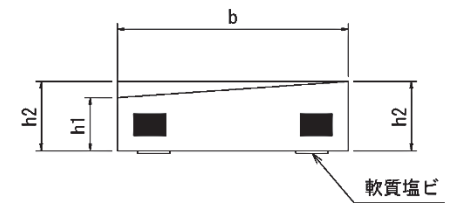
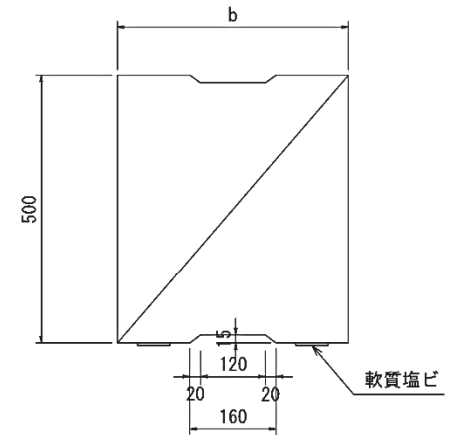
1 型



10m当り

種別	寸法表		材料表		摘要
	b	h	側溝蓋		
			(枚)	(kg/枚)	
B-300	430		20	68	
B-400	530	130		84	
B-450	580			92	
B-500	630			116	
B-600	730	150		131	

調整用

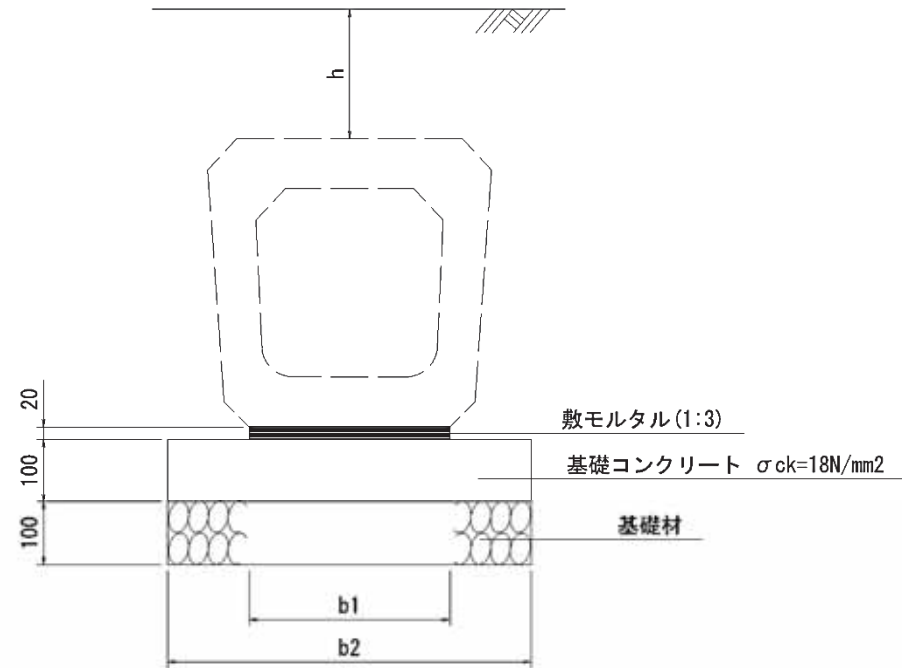


10m当り

種別	寸法表			材料表		摘要
	b	h1	h2	側溝蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
B-300	430			20	65	
B-400	530	100	130		80	
B-450	580				88	
B-500	630				110	
B-600	730	120	150		128	

端尺部を切断しての使用は極力避けることとし、特に斜め切断は行わないこと。

横断暗渠



10m当り

種別 (呼び径)	寸法表			材 料 表				備 考
	b1	b2	h	敷モルタル (m ³)	基礎コンクリート (m ³)	基礎型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	
300	300	460	5 m以下	0.06	0.46	2.00	0.46	
400	300	560	5 m以下	0.06	0.56		0.56	
500	400	670	4 m以下	0.08	0.67		0.67	
600	450	770	2.5m以下	0.09	0.77		0.77	

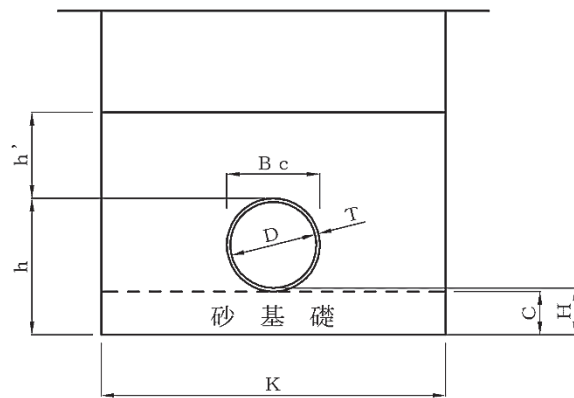
基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。

製品はT-25対応とする。

【管布設工】

塩ビ管類布設図 (1)

(内径200~1000m/m)

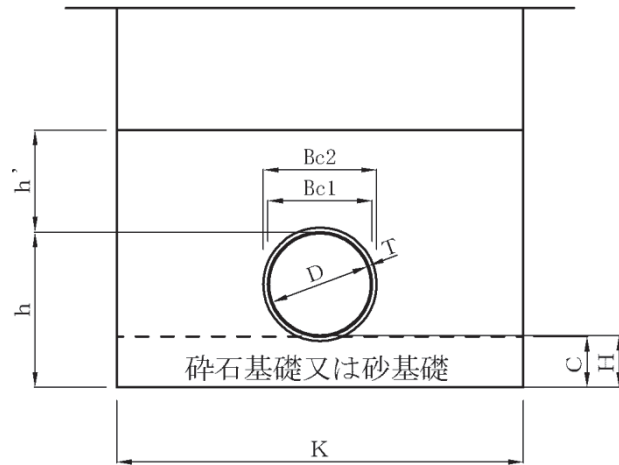


呼び径	内径 D	硬質塩化ビニル管						強化プラスチック複合管					
		管厚 T	外径 Bc	基礎厚 C	H	h	h'	管厚 T	外径 Bc	基礎厚 C	H	h	h'
		200	200	8.0	216	100	108	316	200	7.0	214	100	107
250	250	8.5	267	150	159	417	〃	7.5	265	150	158	415	〃
300	300	9.0	318	〃	〃	468	〃	8.0	316	〃	〃	466	〃
350	350	10.0	370	〃	160	520	〃	8.5	367	〃	159	517	〃
400	400	〃	420	〃	〃	570	〃	9.0	418	〃	〃	568	〃
450	450	〃	470	〃	〃	620	〃	9.5	469	〃	160	619	〃
500	500	〃	520	200	210	720	〃	10.0	520	200	210	720	〃
600	600	15.0	630	〃	215	830	〃	12.0	624	〃	212	824	〃
700	—	—	—	—	—	—	—	14.0	728	〃	214	928	〃
800	—	—	—	—	—	—	—	16.0	832	〃	216	1032	〃
900	—	—	—	—	—	—	—	18.0	936	〃	218	1136	〃
1000	—	—	—	—	—	—	—	20.0	1040	〃	220	1240	〃

注) 塩ビ管の場合の管まわりは、再生砂又は良質な発生土を標準とする。

塩ビ管類布設図 (2)

(内径200~450m/m)

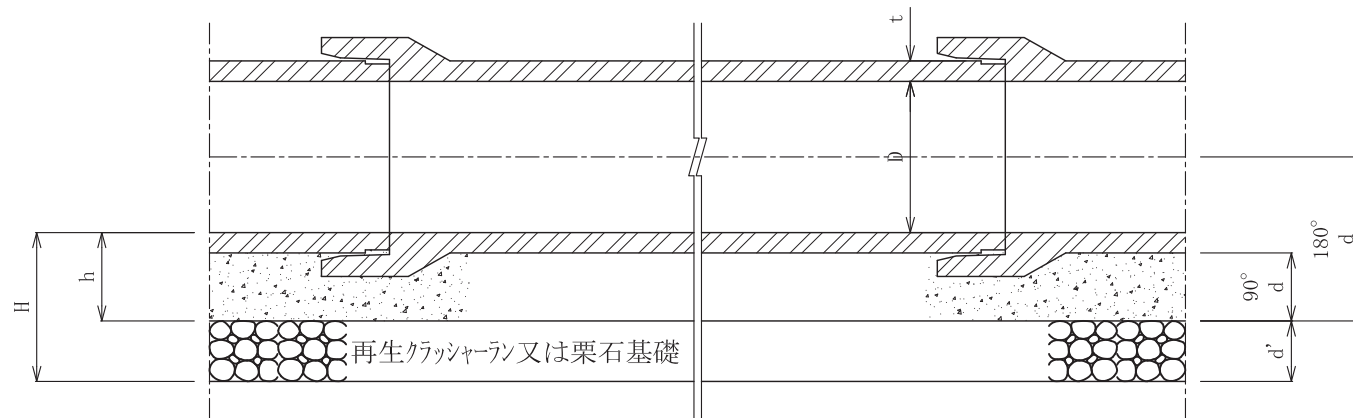
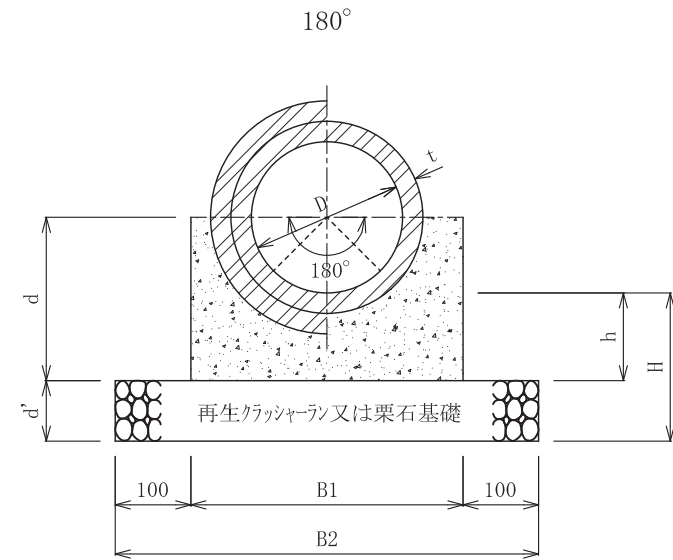
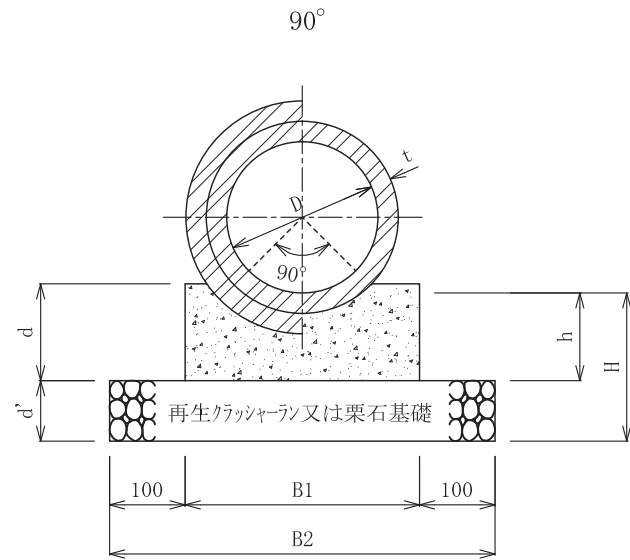


呼び径	内径 D	リブ付硬質塩化ビニル管						
		管厚 T	外径 B c 1	リブ外径 B c 2	基礎厚 C	H	h	h'
200	200	2.75	205.5	222.8	100	102.75	305.5	200
250	250	3.05	256.1	286.2	150	153.05	406.1	〃
300	300	3.55	307.1	343.6	〃	153.55	457.1	〃
350	350	3.70	357.4	400.6	〃	153.70	507.4	〃
400	400	3.80	407.6	448.4	〃	153.80	557.6	〃
450	450	3.90	457.8	502.0	〃	153.90	607.8	〃

注) 管まわりは、砕石、再生砂又は良質な発生土を標準とする。

鉄筋コンクリート管布設図

(内径200~2,000mm)



鉄筋コンクリート管構造寸法表

国土交通省制定 土木構造物標準設計第1巻
平成12年9月版 暗きょーパイプカルバート

(単位：mm)

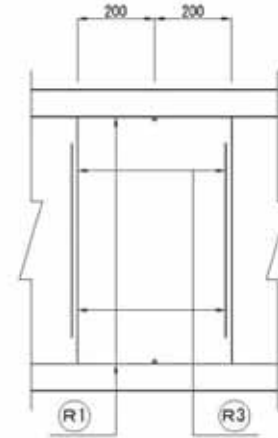
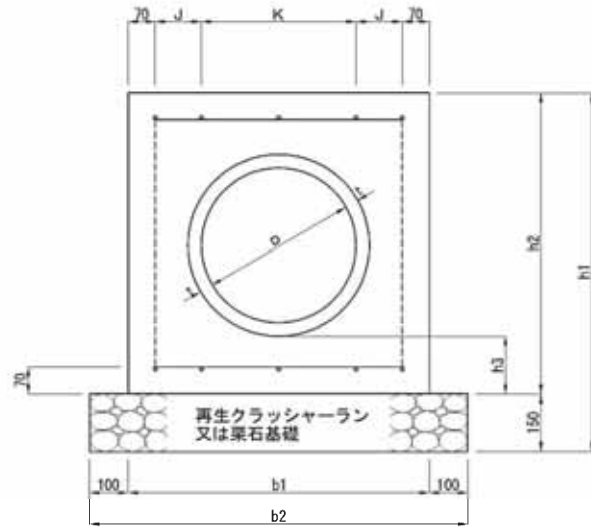
90°

180°

D	l	t	d	d'	B1	B2	h	H	残土係数 (m ³ /m)	d	d'	B1	B2	h	H	残土係数 (m ³ /m)
200	2,000	27	140	150	400	600	127	277	0.1921	230	150	500	700	127	277	0.2453
250	〃	28	150	150	450	650	128	278	0.2319	260	150	550	750	128	278	0.2923
300	〃	30	160	150	500	700	130	280	0.2775	280	150	600	800	130	280	0.3389
350	〃	32	170	150	550	750	132	282	0.3284	310	150	650	850	132	282	0.3963
400	〃	35	220	150	550	750	185	335	0.3912	390	150	700	900	185	335	0.4947
450	2,430	38	230	150	600	800	188	338	0.4556	420	150	750	950	188	338	0.5662
500	〃	42	240	150	650	850	192	342	0.5270	450	150	800	1,000	192	342	0.6439
600	〃	50	260	150	750	950	200	350	0.6874	500	150	900	1,100	200	350	0.8074
700	〃	58	320	150	850	1,050	258	408	0.9050	610	150	1,050	1,250	258	408	1.0895
800	〃	66	340	150	950	1,150	266	416	1.1157	670	150	1,200	1,400	266	416	1.3551
900	2,360	75	360	150	1,050	1,250	275	425	1.3527	730	150	1,350	1,550	275	425	1.6510
1,000	〃	82	380	200	1,200	1,400	282	482	1.7035	790	200	1,450	1,650	282	482	2.0076
1,100	〃	88	440	200	1,300	1,500	338	538	2.0346	890	200	1,600	1,800	338	538	2.4234
1,200	〃	95	460	200	1,400	1,600	345	545	2.3436	950	200	1,750	1,950	345	545	2.8112
1,350	〃	103	480	200	1,600	1,800	353	553	2.8568	1,030	200	1,900	2,100	353	553	3.3278
1,500	〃	112	510	200	1,750	1,950	362	562	3.4048	1,120	200	2,100	2,300	362	562	3.9792
1,650	〃	120	580	200	1,900	2,100	420	620	4.0727	1,250	200	2,350	2,550	420	620	4.8503
1,800	〃	127	610	200	2,100	2,300	427	627	4.7535	1,330	200	2,500	2,700	427	627	5.5218
2,000	〃	145	640	200	2,300	2,500	445	645	5.7165	1,450	200	2,800	3,000	445	645	6.7194

鉄筋コンクリート管布設図

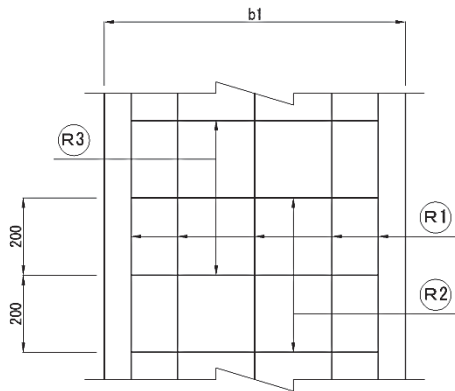
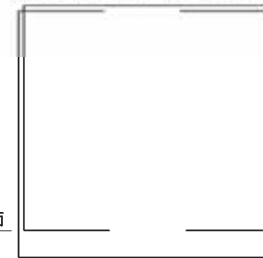
(360° 巻内径200~500mm)



鉄筋組立図 (D400以上)



鉄筋組立図 (D350以上)



鉄筋コンクリート管布設図

(360° 巻内径200~500mm)

360° 固定基礎寸法及び材料表

(10m当たり)

呼び径	寸 法 表										材 料 表			
	D (mm)	t (mm)	b1 (mm)	b2 (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	h3 (mm)	J (mm)	L (mm)	K (mm)	コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ (m ³)	型枠 小型構造物 (m ²)	基礎材 RC-40 (m ²)	RC管 (本)
200	200	27	460	660	610	460	100	—	2000	320(=2×160)	1.609	9.200	6.600	5.0
250	250	28	520	720	670	520		—		380(=2×190)	1.969	10.400	7.200	
300	300	30	560	760	710	560		—		420(=2×210)	2.118	11.200	7.600	
350	350	32	620	820	770	620		140		200	2.498	12.400	8.200	
400	400	35	780	980	930	780	150	120	2430	400(=2×200)	4.349	15.600	9.800	4.1
450	450	38	840	1040	990	840		150		400(=2×200)	4.883	16.800	10.400	
500	500	42	900	1100	1050	900		180		400(=2×200)	5.421	18.000	11.000	

360° 固定基礎鉄筋材料表

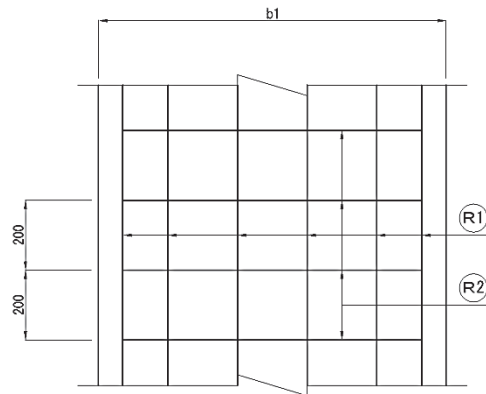
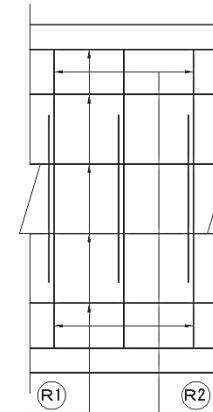
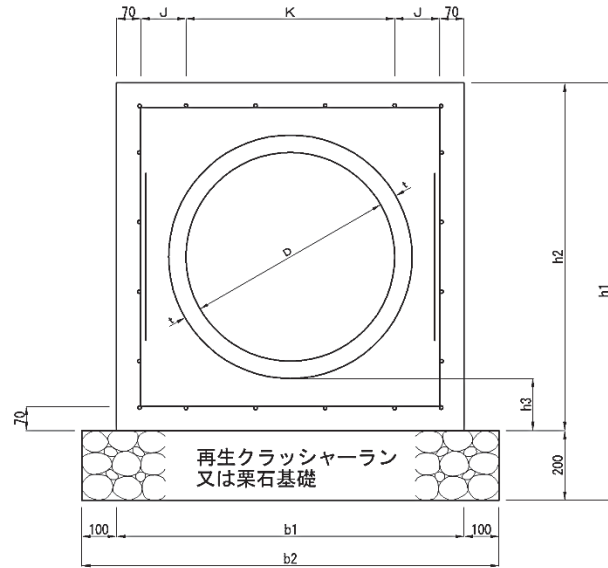
(1m当たり)

呼び径	縦方向鉄筋 R1 SD345				縦方向鉄筋 R2 SD345					縦方向鉄筋 R3 SD345					鉄筋 総質量 (kg)	
	鉄筋径	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	鉄筋径	本数 (本)	長さ (mm/本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	鉄筋径	本数 (本)	長さ (mm/本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)		形状
200	D13	6	0.995	5.970	D13	5	320	0.995	1.592	D13	5	1110	0.995	5.522		13.084
250	D13	6	0.995	5.970	D13	5	380	0.995	1.891	D13	5	1230	0.995	6.119		13.980
300	D13	6	0.995	5.970	D13	5	420	0.995	2.090	D13	5	1310	0.995	6.517		14.577
350	D13	8	0.995	7.960	D13	5	480	0.995	2.388	D13	5	1430	0.995	7.114		17.462
400	D13	10	0.995	9.950	D13	5	640	0.995	3.184	D13	5	1750	0.995	8.706		21.840
450	D13	10	0.995	9.950	D13	5	700	0.995	3.483	D13	5	1870	0.995	9.303		22.736
500	D16	10	1.560	15.600	D13	5	760	0.995	3.781	D13	5	1990	0.995	9.900		29.281

国土交通省制定 土木構造物標準設計第1巻 平成12年9月版 暗きょーパイプカルバート

鉄筋コンクリート管布設図

(360° 巻内径600~1000mm)



鉄筋組立図



鉄筋コンクリート管布設図

(360° 巻内径600~1000mm)

360° 固定基礎：遠心力鉄筋コンクリート管 寸法及び材料表

(10m当たり)

呼び径	寸 法 表										材 料 表			
	D (mm)	t (mm)	b1 (mm)	b2 (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	h3 (mm)	J (mm)	L (mm)	K (mm)	コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ (m ³)	型枠 小型構造物 (m ²)	基礎材 RC-40 (m ²)	RC管 (本)
600	600	50	1000	1200	1200	1000	150	130	2430	600(=3×200)	6.152	20.000	12.000	4.1
700	700	58	1220	1420	1420	1220	140	800(=4×200)		9.654	24.400	14.200		
800	800	66	1340	1540	1540	1340	—	1200(=6×200)		11.134	26.800	15.400		
900	900	75	1460	1660	1660	1460	160	1000(=5×200)		12.657	29.200	16.600		
1000	1000	82	1580	1780	1780	1580	120	1200(=6×200)		14.323	31.600	17.800		

360° 固定基礎：遠心力鉄筋コンクリート管 鉄筋材料表

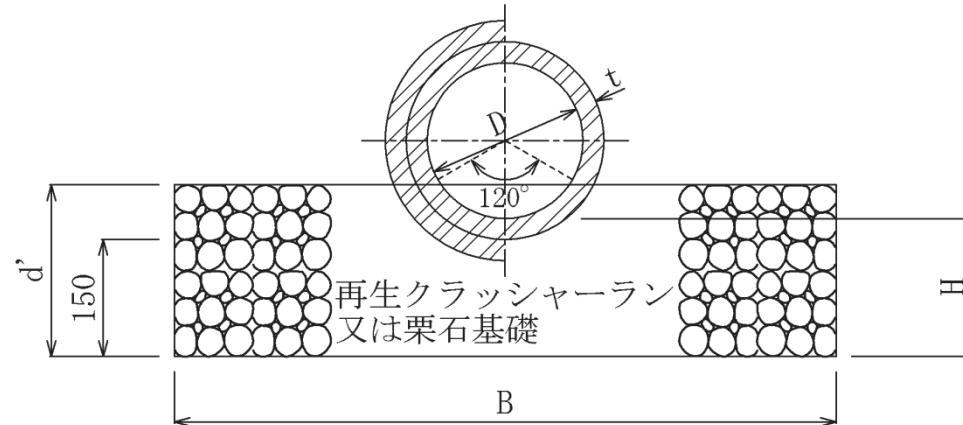
(1m当たり)

呼び径	縦方向鉄筋 R1 SD345				縦方向鉄筋 R2 SD345						鉄筋 総質量 (kg)
	鉄筋径	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	鉄筋径	本数 (本)	長さ (mm/本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状	
600	D13	20	0.995	19.900	D13	10	2190	0.995	21.791		41.691
700	D13	24	0.995	23.880	D13	10	2630	0.995	26.169		50.049
800	D16	24	1.560	37.440	D13	10	2870	0.995	28.557		65.997
900	D16	28	1.560	43.680	D13	10	3110	0.995	30.945		74.625
1000	D16	32	1.560	49.920	D13	10	3350	0.995	33.333		83.253

国土交通省制定 土木構造物標準設計第1巻 平成12年9月版 暗きょーパイプカルバート

鉄筋コンクリート管布設図

(砕石基礎)



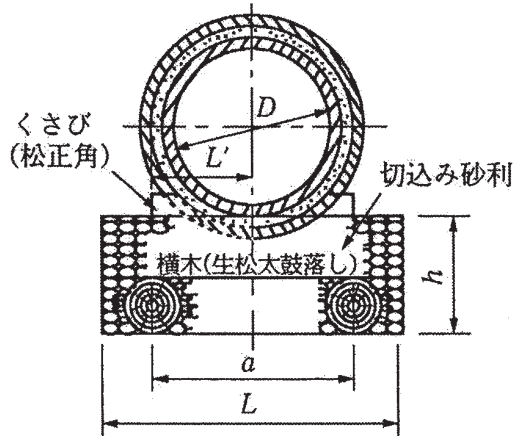
(1 m 当り)

D (mm)	t (mm)	d (mm)	d' (mm)	B 軽量鋼矢板建込 (mm)	H (mm)	残土係数 (m ³)
200	27	150	220	850	177	0.2278
250	28	150	230	850	178	0.2547
300	30	150	240	900	180	0.2979

注) 砕石基礎の施工条件については「福岡市下水道標準設計運用基準書 開削工法設計基準編」第4章を参照とすること。

遠心力鉄筋コンクリート管B形はしご胴木基礎布設図

(内径200mm~1,800mm)



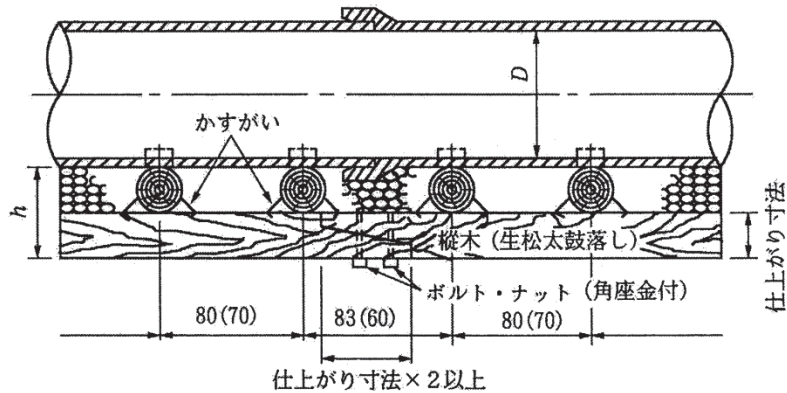
寸法表

(単位: mm)

内径 D	縦木間隔 a	基礎巾 ℓ	基礎厚 h	くさび長さ ℓ'	材 料 寸 法				
					横木材 末口×仕上げ	縦木材 末口×仕上げ	くさび材	鉄丸釘 径×長さ	かすがい 径×長さ
200~350	300	450	165	150	105×75	120×90	60×60	4×100	9×150
400	300	450	165	150	120×90	120×90	60×60	4×100	9×150
450~600	400	600	180	200	120×90	120×90	60×60	4×100	9×150
700~1,000	600	900	240	300	150×120	150×120	75×75	4×150	9×180
1,100~1,200	800	1,200	240	400	150×120	150×120	75×75	4×150	9×180
1,350	1,000	1,500	240	400	150×120	150×120	75×75	4×150	9×180
1,500	1,000	1,500	300	400	180×150	180×150	90×90	4×150	12×210
1,650~1,800	1,200	1,800	300	400	180×150	180×150	90×90	4×150	12×210

材 料 表

(100m当り)

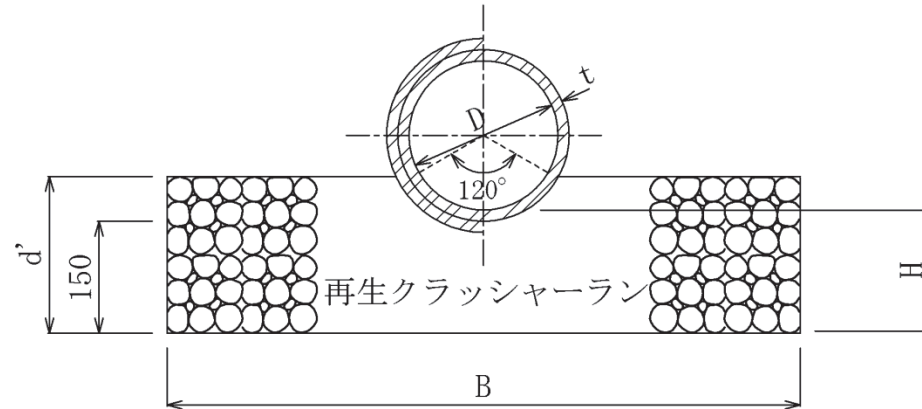


内径 (D)	横木材 (生松) (m3)	縦木材 (生松) (m3)	くさび材 (松正角) (m3)	再生 クラッシュラン (m3) (0~40)	ボルト・ ナット (角座金付) (本)	鉄丸釘 (kg)	かすがい (本)
200~350	0.75	3.04	0.14	4.30	104.7	3.4	500
400	0.80	3.04	0.12	5.20	104.7	2.8	500
450~600	1.07	3.04	0.16	8.00	104.7	2.8	500
700~1,000	2.53	4.79	0.40	17.20	106.4	6.0	500
1,100~1,200	3.70	4.79	0.56	24.40	106.4	6.0	500
1,350	4.20	4.79	0.56	32.40	106.4	6.0	500
1,500	5.99	7.03	0.80	38.40	108.1	6.0	500
1,650~1,800	7.16	7.03	0.80	47.80	108.1	6.0	500

注 () は長さ2,000mmヒューム管仕様時の数値

レジンコンクリート管布設図

(碎石基礎)



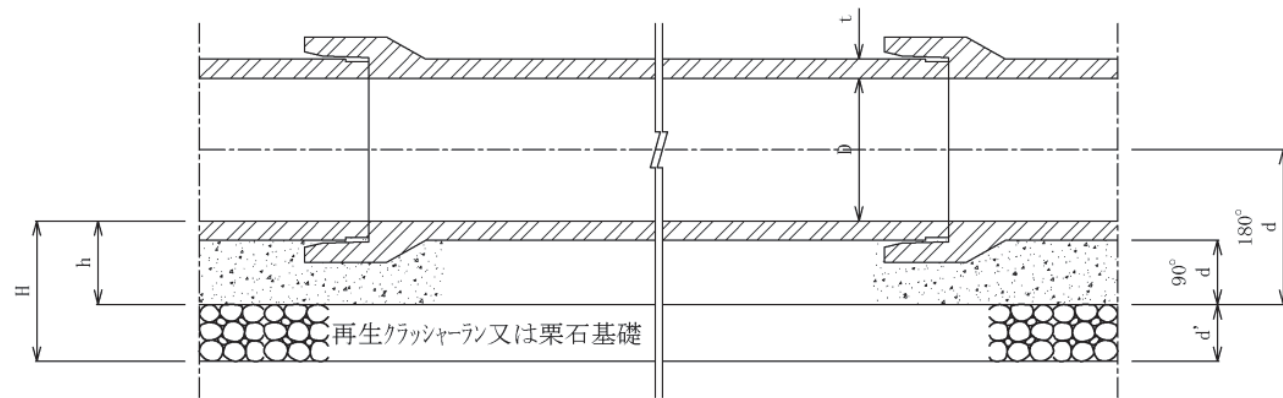
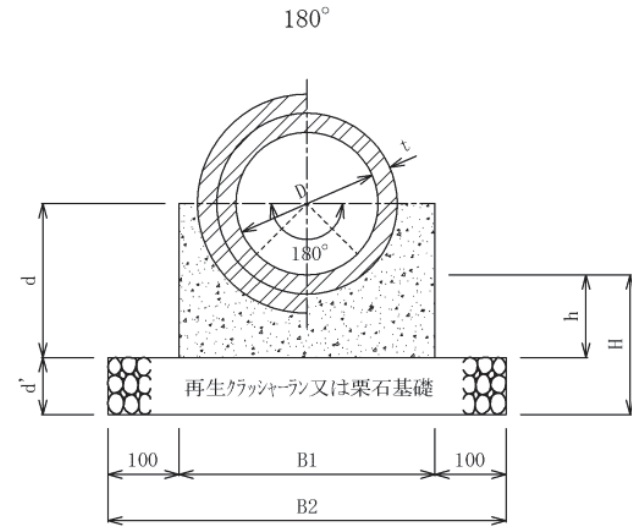
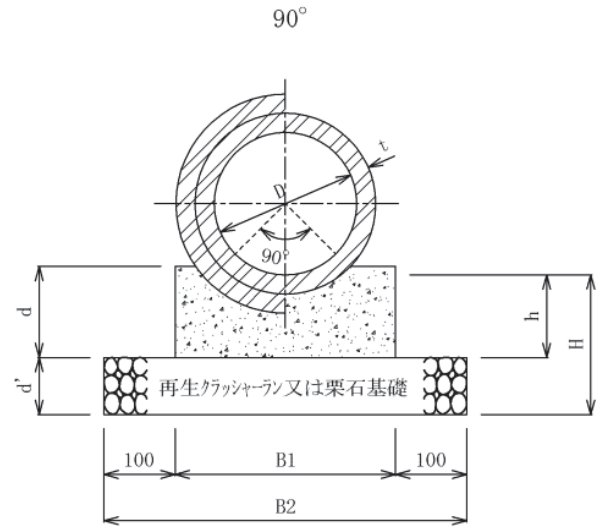
(1 m 当り)

D (mm)	t (mm)	d (mm)	d' (mm)	B (mm)	H (mm)	残土係数 (m ³)
200	15	150	210	850	165	0.2119
250	17	150	230	850	167	0.2465
300	19	150	240	900	169	0.2882

注) 碎石基礎の施工条件については「福岡市下水道標準設計運用基準書」第4章を参照とすること。

レジンコンクリート管布設図

(内径200~600m/m)



レジンコンクリート管構造寸法表

国土交通省制定 土木構造物標準設計第1巻
平成12年9月版 暗きょパイプカルバート

(単位：mm)

90°

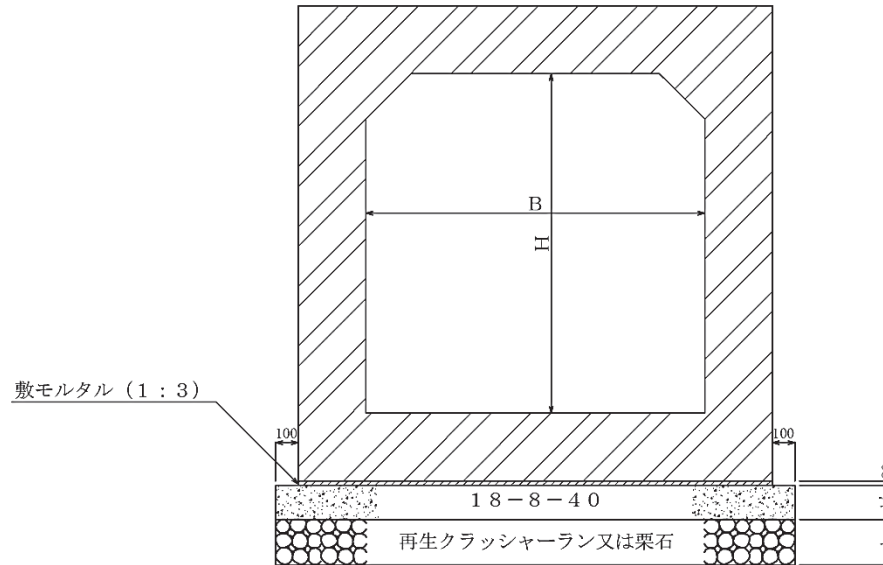
180°

D	l	t
200	2,000	15
250	〃	17
300	〃	19
350	〃	23
400	〃	28
450	2,430	30
500	〃	34
600	〃	40

d	d'	B1	B2	h	H	残土係数 (m ³ /m)
150	150	400	600	127	277	0.1878
160	150	450	650	128	278	0.2271
170	150	500	700	130	280	0.2716
170	150	550	750	132	282	0.3180
230	150	550	750	185	335	0.3875
240	150	600	800	188	338	0.4497
250	150	650	850	192	342	0.5204
260	150	750	950	200	350	0.6677

d	d'	B1	B2	h	H	残土係数 (m ³ /m)
230	150	500	700	127	277	0.2408
260	150	550	750	128	278	0.2872
280	150	600	800	130	280	0.3329
310	150	650	850	132	282	0.3906
390	150	700	900	185	335	0.4897
420	150	750	950	188	338	0.5596
450	150	800	1,000	192	342	0.6367
500	150	900	1,100	200	350	0.7966

ボックスカルバート布設図



ボックスカルバートの設計にあたっては、「開削工法設計基準編」の第5章に準ずること。

注) 目地モルタルについては製品単価に含まれる。

(単位 : mm)

記号	基礎厚		
B × H	600 × 600 ~ 1,000 × 1,000	1,100 × 1,100 ~ 2,000 × 2,000	2,200 × 1,800 ~ 3,500 × 2,500
h'	100	150	200
h	150	200	250

注) 現場打の場合、基礎コンクリート厚 (h') は100mm、基礎材厚 (h) は200mmとし、敷モルタルは計上しない。

【土工】

塩ビ管掘削幅算定表

硬質塩化ビニル管

管 径	200		250		300		350		400		450		500		600	
	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z
軽量鋼矢板建込	85	0.1216	85	0.1835	85	0.2069	90	0.2425	100	0.2885	105	0.3310	110	0.4324	120	0.5517
軽量鋼矢板打込	85	0.1216	85	0.1835	85	0.2069	90	0.2425	100	0.2885	105	0.3310	110	0.4324	120	0.5517
鋼 矢 板 III 型	105	0.1416	105	0.2135	105	0.2369	110	0.2725	115	0.3110	120	0.3535	130	0.4724	140	0.5917

強化プラスチック複合管

管 径	200		250		300		350		400		450		500		600		700		800		900		1000	
	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z
軽量鋼矢板建込	85	0.1210	85	0.1827	85	0.2059	90	0.2408	100	0.2872	105	0.3303	110	0.4324	120	1.5458	125	0.6662	140	0.8237	150	0.9881	160	1.1695
軽量鋼矢板打込	85	0.1210	85	0.1827	85	0.2059	90	0.2408	100	0.2872	105	0.3303	110	0.4324	120	0.5458	125	0.6662	140	0.8237	150	0.9881	160	1.1695
鋼 矢 板 III 型	105	0.1410	105	0.2127	105	0.2359	110	0.2708	115	0.3097	120	0.3528	130	0.4724	140	0.5858	145	0.7062	155	0.8537	165	1.0181	175	1.1995

リップ付硬質塩化ビニル管

管 径	200		250		300		350		400		450	
	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z	K	Z
軽量鋼矢板建込	85	0.1182	85	0.1790	85	0.2016	90	0.2353	100	0.2805	105	0.3221
軽量鋼矢板打込	85	0.1182	85	0.1790	85	0.2016	90	0.2353	100	0.2805	105	0.3221
鋼 矢 板 III 型	105	0.1382	105	0.2090	105	0.2316	110	0.2653	115	0.3030	120	0.3446

K : 掘削幅 (cm) Z : 残土係数

鉄筋コンクリート管掘削幅算定基準

(単位：cm)

管径 基礎種別 土留種別	200			250			300			350			400			450			500		
	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石
軽量鋼矢板建込	110	130	85	115	135	85	120	140	90	125	145	95	135	150	105	140	155	110	145	160	115
軽量鋼矢板打込	110	130	85	115	135	85	120	140	90	125	145	95	135	150	105	140	155	110	145	160	115
鋼 矢 板 III 型	125	145	105	130	150	105	135	155	105	140	160	110	150	165	115	155	170	120	160	175	130

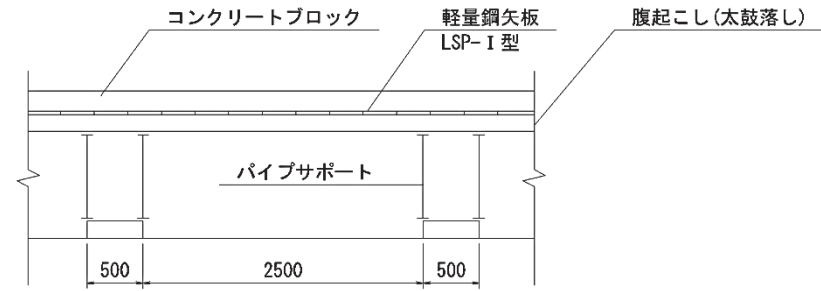
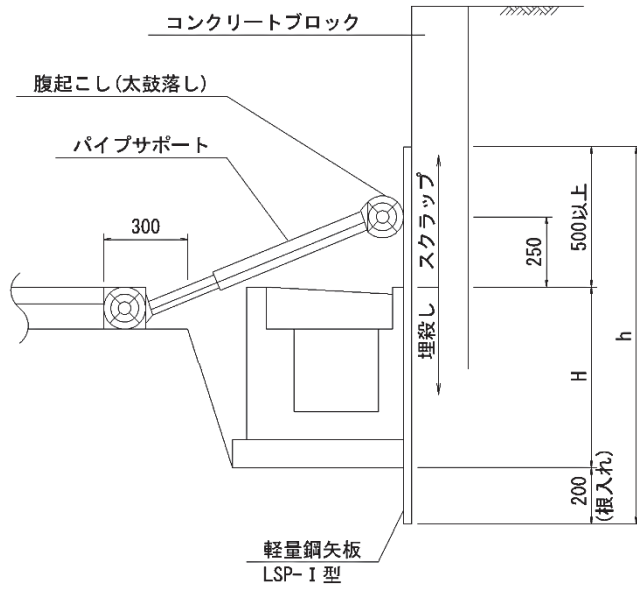
管径 基礎種別 土留種別	600			700			800			900			1,000			1,100			1,200		
	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石
軽量鋼矢板建込	155	170	130	165	195	140	175	210	155	185	225	170	200	235	180	210	260	195	220	275	205
軽量鋼矢板打込	155	170	130	165	195	145	175	210	155	185	225	170	200	235	180	210	260	195	220	275	210
鋼 矢 板 III 型	170	185	140	180	210	155	190	225	170	200	240	180	215	250	195	225	275	205	235	290	220

管径 基礎種別 土留種別	1,350			1,500			1,650			1,800			2,000		
	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石	90°	180°	砕石
軽量鋼矢板建込	240	290	225	265	320	225	280	345	245	300	360	260	320	390	285
軽量鋼矢板打込	240	290	225	265	320	225	280	345	245	300	360	260	320	390	285
鋼 矢 板 III 型	255	305	240	280	335	240	295	360	255	315	375	275	335	405	295

注) コンクリート基礎以外の基礎を使用する場合は別途作成のこと

【土留工】

埋設矢板（側溝布設用）



種 別	寸 法 表		材 料 表				摘 要
	H	h	軽量鋼矢板 (kg)	腹 起 し (本)	パイプサポ-ト (本)	スクラップ (kg)	
H-650	650	1350	556.2	3.33	6.67	206	10m当り
H-1000	1000	1700	700.4	3.33	6.67	206	

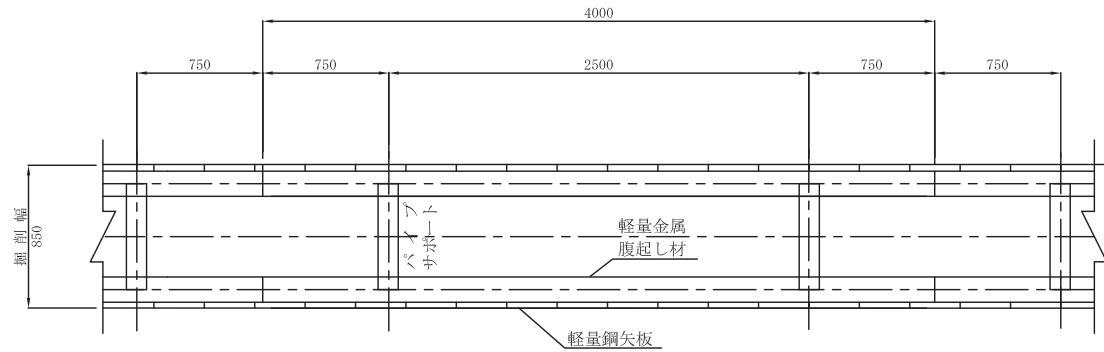
建込土留工早見表（軽量鋼矢板）

土留構造図 タイプ	掘削深 (m)	土留工		軽量金属支保工	備考
		土留長 (m)	厚 (cm)	段数	
①	$H < 1.30$	1.50	高さ36mm 厚み5mm	1	腹起し：アルミ製 幅110～120mm L = 4 m 切梁：パイプサポート
①	$1.30 \leq H < 1.80$	2.00	高さ36mm 厚み5mm	1	
①	$1.80 \leq H < 2.00$	2.50	高さ36mm 厚み5mm	1	
②	$2.00 \leq H < 2.30$	2.50	高さ36mm 厚み5mm	2	
②	$2.30 \leq H < 2.80$	3.00	高さ36mm 厚み5mm	2	
②	$2.80 \leq H < 3.30$	3.50	高さ36mm 厚み5mm	2	
②	$3.30 \leq H < 3.50$	4.00	高さ36mm 厚み5mm	2	
③	$3.50 \leq H < 3.80$	4.00	高さ36mm 厚み5mm	3	

土留工構造図（参考）

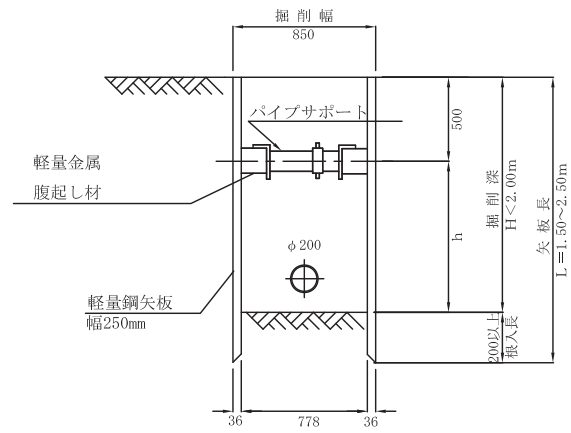
タイプ①（軽量鋼矢板 L=1.50~2.50m）
（掘削深 H<2.00m）

平面図



断面図

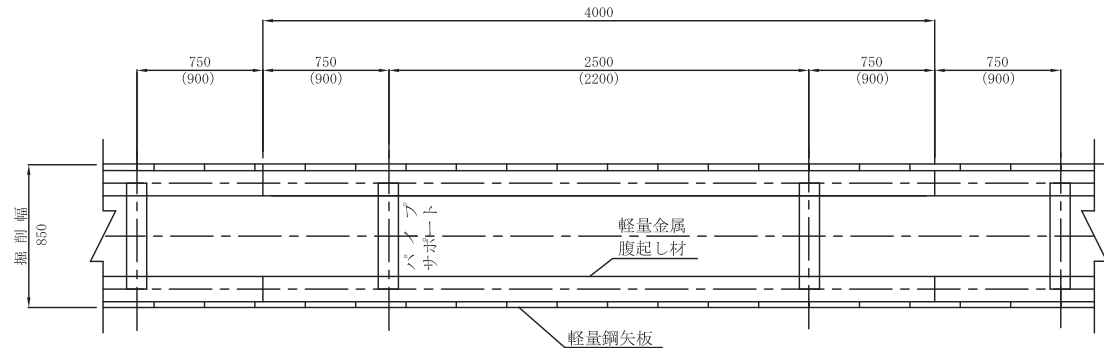
タイプ①



土留工構造図（参考）

タイプ②（軽量鋼矢板 L=2.50~4.00m）
 （掘削深 $2.00 \leq H < 3.50\text{m}$ ）

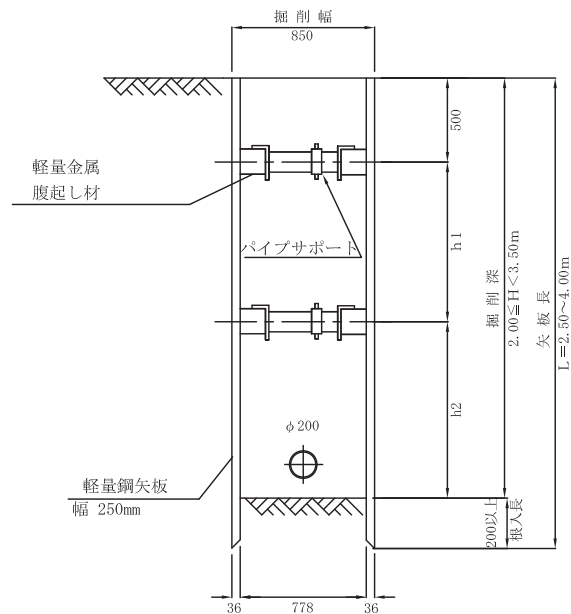
平面図



掘削深が3.00mを超える場合は
 () 内の数値とする。

断面図

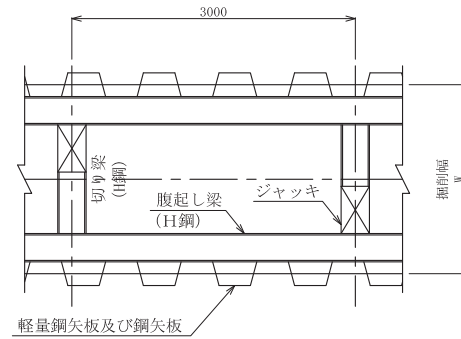
タイプ②



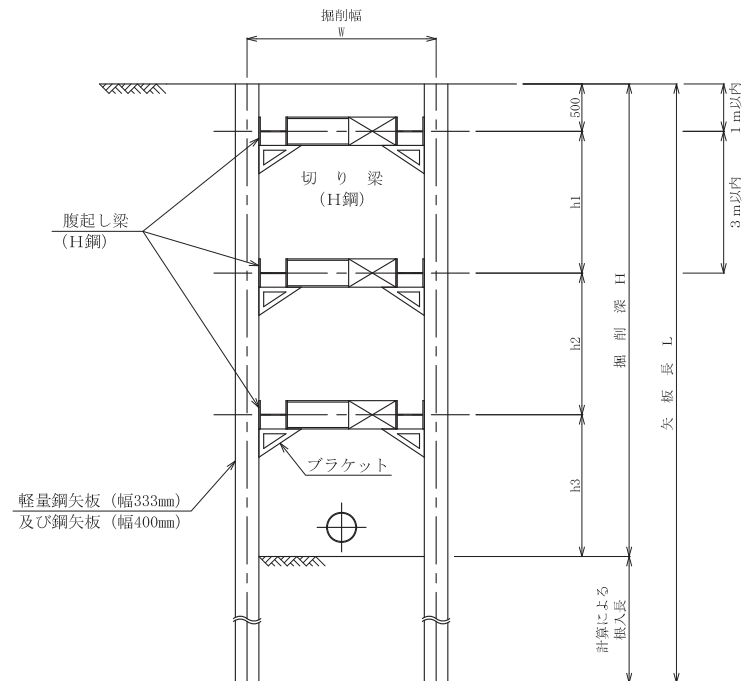
土留工構造図

打込参考

平面図



断面図



支保工材料表

鋼製支保工（参考）

（注）切りばり延長を算出する時はジャッキ幅（ $W=0.50\text{m}$ ）を減長する。

100m当り

種 目	掘削幅（B）	1.35 （～1.60未満）	1.85 （1.60～2.45未満）	3.05 （2.45～3.70未満）
	掘削深さ（m）			
腹起こし H型鋼	深 さ 4 m 未 満	H-200×200×8 2段 $0.0550 \times 100 \times 4 = 22.00 \text{ t} / 100\text{m}$	同 左	同 左
切りばり H型鋼	4 m 未 満	H-200×200×8 $L_1 = x \text{ m} \times 66\text{本} / 100\text{m}$ $W_1 = 0.0550 \times L_1$	H-200×200×8 $L_2 = x \text{ m} \times 66\text{本} / 100\text{m}$ $W_2 = 0.0550 \times L_2$	H-200×200×8 $L_3 = x \text{ m} \times 66\text{本} / 100\text{m}$ $W_3 = 0.0550 \times L_3$
重 量 計	4 m 未 満	$(22.00 + W_1) \text{ t}$	$(22.00 + W_2) \text{ t}$	$(22.00 + W_3) \text{ t}$
副部材A 副部材B		リース重量×（X）	同 左	同 左

備 考 副部材A、Bの重量については別途定数Xを掛けて算出する。

副部材Aとはジャッキ、コーナーピース、カバープレート、調整料等をいう。

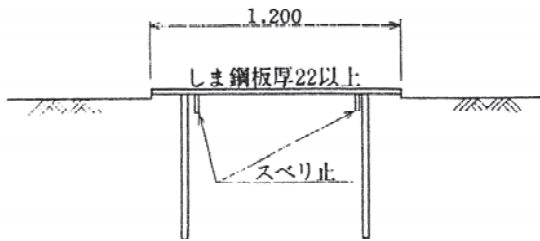
副部材Bとはボルトナット、鉄筋ブラケット、ジャッキハンドル等をいう。

$L = (\text{掘削幅} - \text{矢板厚} \times 2 - 0.200 \times 2 - 0.50) \text{ m}$ である。

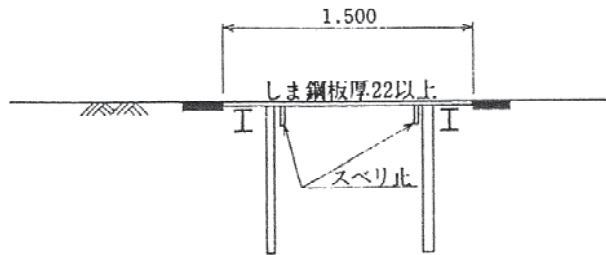
【路面覆工】

路面覆工（参考図）

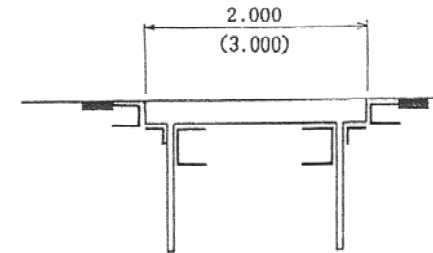
幅 1.20m



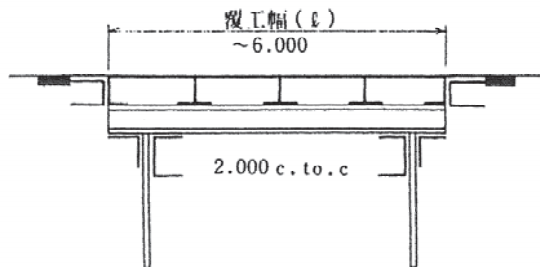
幅 1.50m



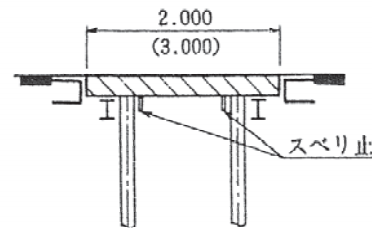
幅 2.00m
(3.00m)



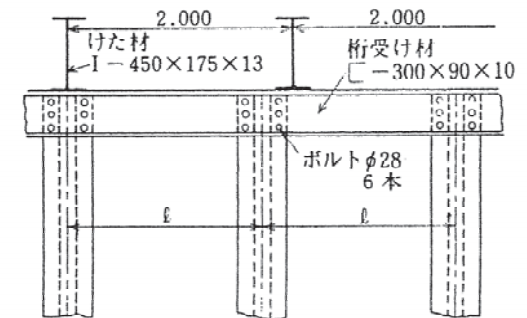
幅3.00～6.00m



幅 2.00m
(3.00m)



受桁と受け材取付け標準図



※ ■ アスファルトすりつけ

覆工材料表（H形鋼）（参考）

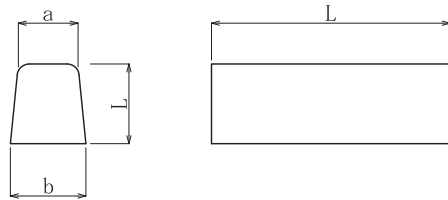
種目 幅 (m)	覆工板 (枚)	10m当たり			
		けた材 2.00m C・t ₀ ・c (kg)	けた・受材 (kg)	その他鋼材 (kg)	規 格
1.20	しま鋼板 22×1.219×2.438 4.1	—	—	—	A
1.50	しま鋼板 22×1.524×3.048 3.3	H-200×200×8×12 998	—	—	B
2.00	2000×1000 10	L-125×90×10 [-200×80×7.5 814	[-200×80×7.5 492	—	C
3.00	2000×1000 15	H-250×250×9×14 1,077	L-150×90×12 [-200×80×7.5 1,726 [-250×90×11	231	E
4.00	2000×1000 20	H-300×300×10×15 1,860	L-150×90×12 [-200×80×7.5 1,726 [-250×90×11	309	G
5.00	2000×1000 25	H-350×350×12×19 3,375	L-150×90×12 [-200×80×7.5 1,726 [-250×90×11	461	I
6.00	2000×1000 30	H-400×400×13×21 5,160	L-150×90×12 [-200×80×7.5 1,798 [-300×90×10	647	K
2.00	2000×1000 10	H-200×200×8×12 998	[-200×80×7.5 492	—	L
3.00	3000×1000 10	L-125×90×10 [-200×80×7.5 814	[-200×80×7.5 492	—	M
3.00	3000×1000 10	H-200×200×8×12 998	[-200×80×7.5 492	—	N

- 備考1. 重交通箇所及び交差点を配慮したけた受け材であり、ボルトナット、溶接、補強材はその他鋼材欄に含まれる。
 なお、その他鋼材の単価はL型鋼の購入単価とする。
2. H形鋼は仮設桁杭用とする。

【舗装工】

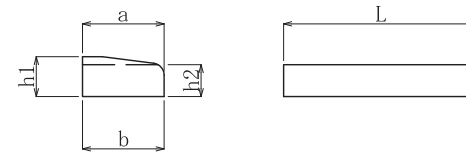
道路用ブロック構造図

標準部



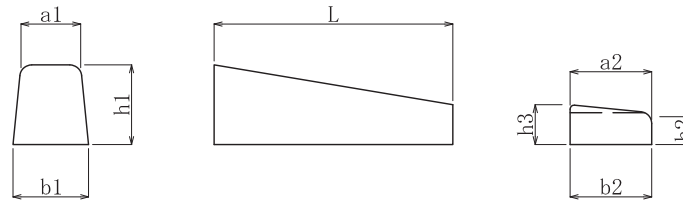
種 別	寸 法 表				摘 要
	a	b	h	L	
歩車道境界ブロック A	150	190	200	600	JIS A 5371
歩車道境界ブロック B	180	230	250	600	
歩車道境界ブロック B(L)				2000	
歩車道境界ブロック C	180	240	300	600	
歩車道境界ブロック C(L)				2000	

乗入部



種 別	寸 法 表					摘 要
	a	b	h1	h2	L	
歩車道境界ブロックD	205	205	80	80	490	自転車歩行者用
歩車道境界ブロックE	200	205	100	70	490	車両乗入用

切下げ部



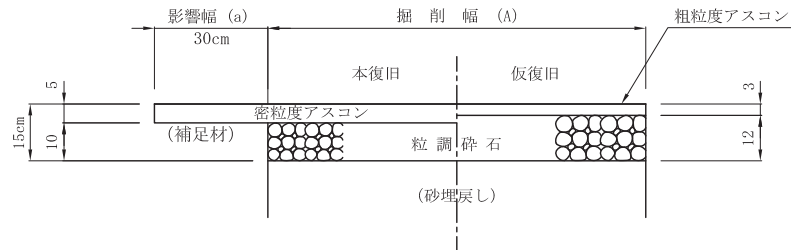
種 別	寸 法 表								摘 要
	a1	b1	h1	a2	b2	h2	h3	L	
歩車道境界ブロック AS	150	190	200	205 (200)	205	80 (70)	80 (100)	600	()は 車両乗入用
歩車道境界ブロック BS	180	230	250					600	
歩車道境界ブロック CS		240	300					600	

※基礎材料等は、土木構造物標準図集を参照のこと。

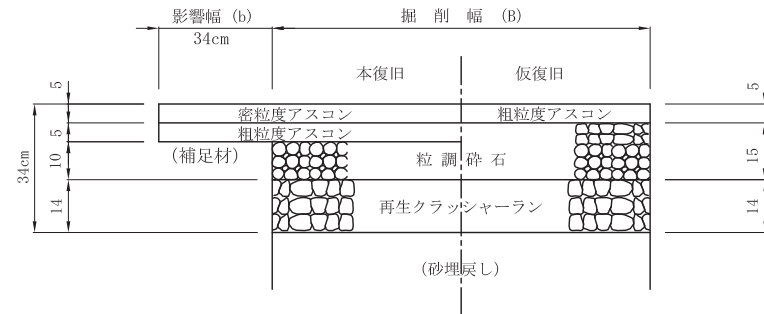
舗装復旧タイプ別構造図 (1)

※影響幅の原則は、タイプA及び歩道タイプは0.3mとし、タイプB, C, Dは舗装厚とする。

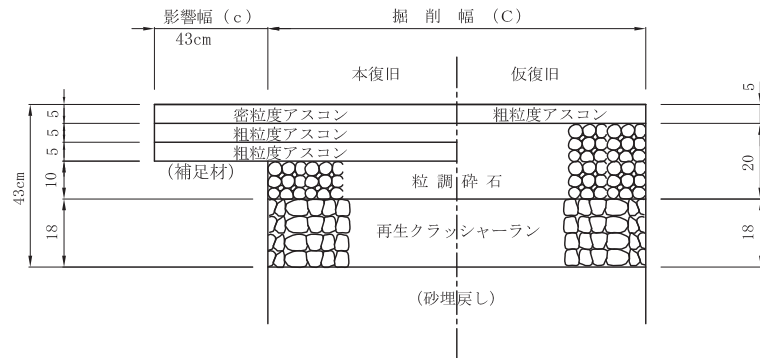
アスファルト系舗装道 (A・a)



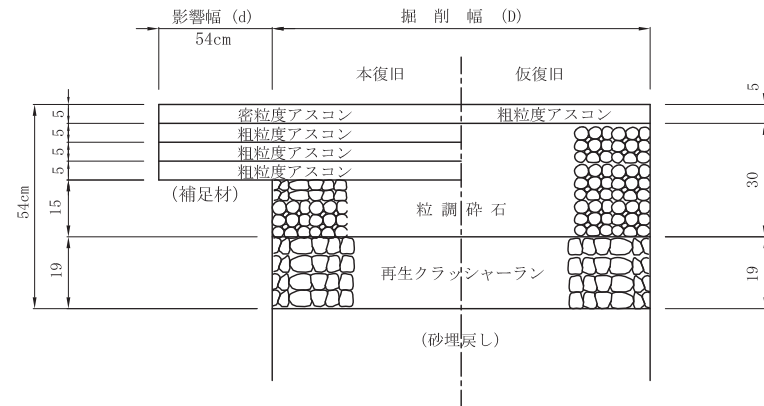
アスファルト系舗装道 (B・b)



アスファルト系舗装道 (C・c)



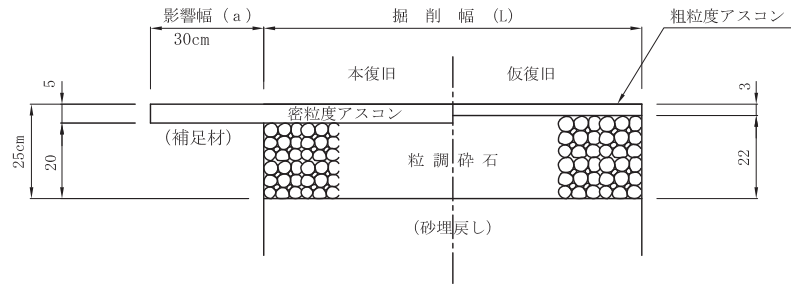
アスファルト系舗装道 (D・d)



※資材については、再生材を標準とする。

舗装復旧タイプ別構造図（２）

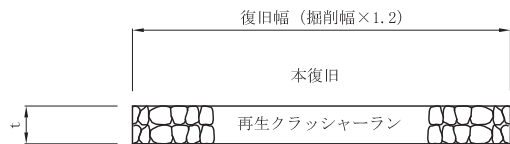
アスファルト系舗装道（L）



アスファルト系舗装道（歩道）



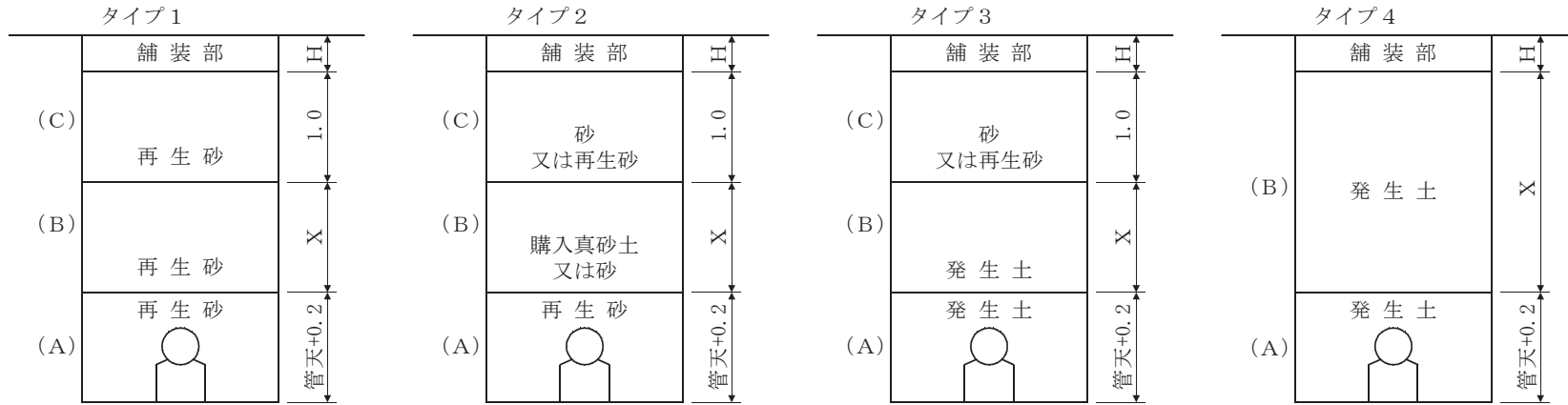
砂利道



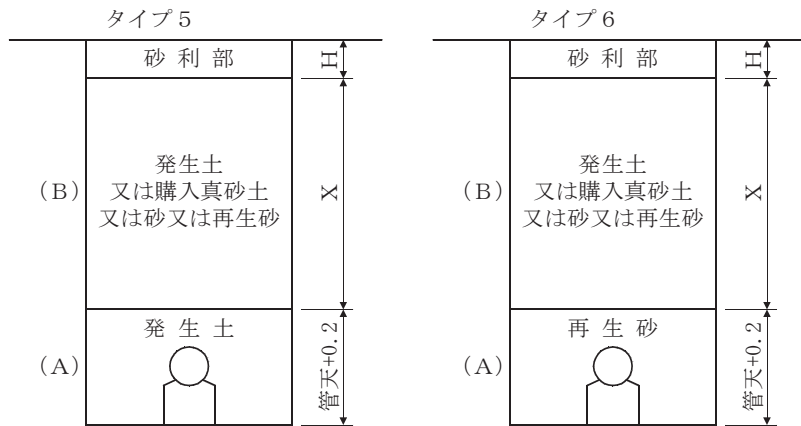
- 注) 1. 舗装本復旧○とは図の各タイプ別本復旧を示す。
 2. 舗装仮復旧○とは図の各タイプ別仮復旧を示す。但し、仮復旧は掘削部にて施工する。
 3. 舗装復旧仮一本○とは各タイプ別に仮復旧した後、本復旧の表層厚分の剥ぎ取りを行い、表層施工する。
 凡例 舗装復旧仮一本A
 仮復旧後の本復旧であり、仮復旧の粗粒アスコン 3 cm 及び路盤材 2 cm を剥ぎ取り、本復旧の密粒アスコン 5 cm の表層部の施工を行う。
 ※資材については、再生材を標準とする。

埋戻構造基準

イ) 舗装道



ロ) 砂利道



注1) (A) 区分における発生土とは「砂質土」とする。

注2) (B) 区分における発生土とは「砂質土」、「礫質土」とする。

注3) 舗装部Hとは「表層+路盤厚」とする。

注4) (A)、(B)、(C) 区分は機械埋戻しを原則とする。

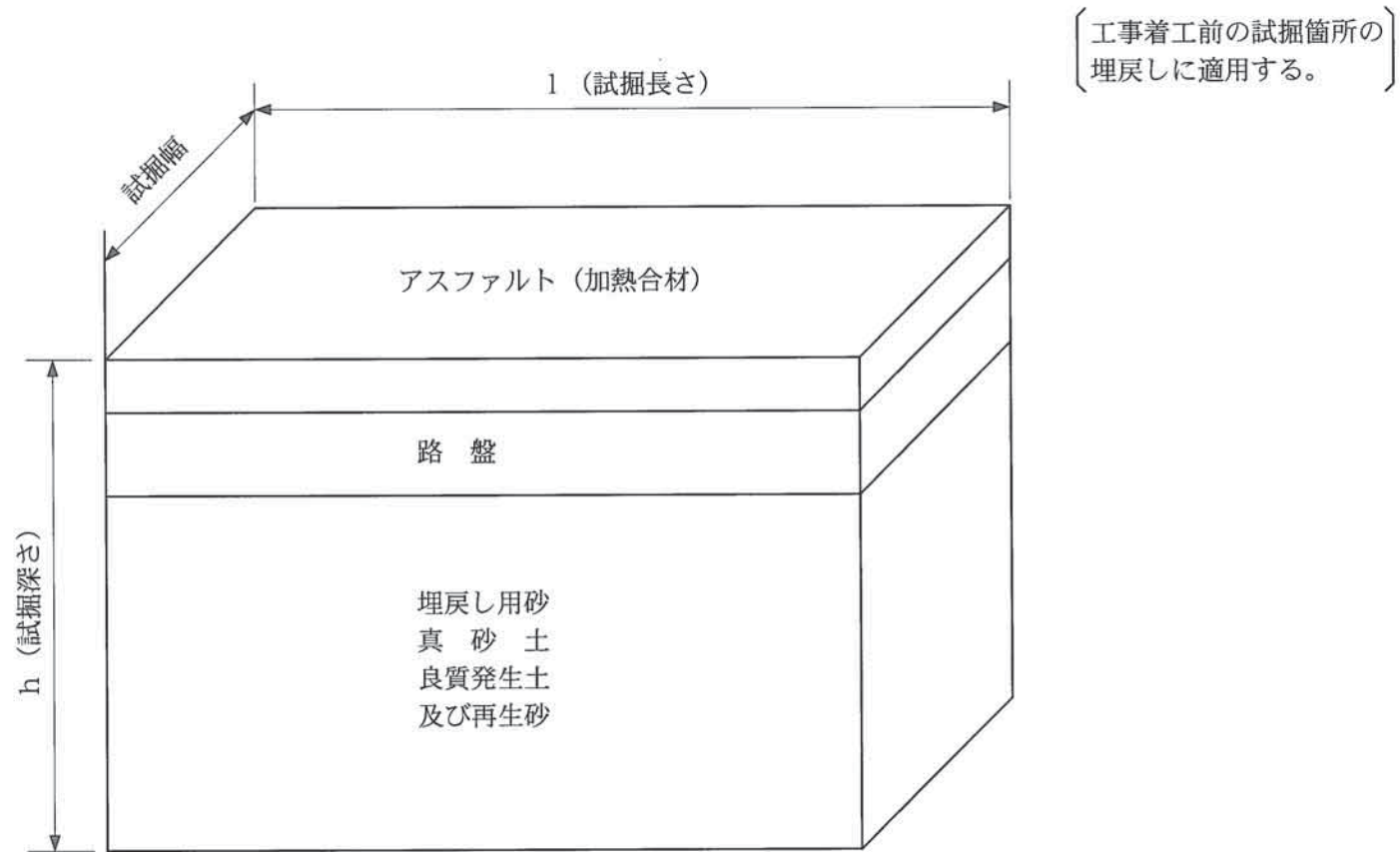
注5) (B) 区分の層厚「X」が0.20m未満の場合は、(A) 区分の土質と同じとする。

注6) タイプ1～3において、土被りが浅く、「管天+0.2m」のラインがC層へ含まれる場合は、全砂又は全再生砂埋戻しとする。

注7) 塩ビ管の場合の管まわりは、再生砂又は良質な発生土を標準とする。

注8) 「道路掘さく跡の埋戻し及び復旧工事施工基準」に従うこと。

試掘箇所復旧基準



※試掘幅は、原則として 1mとする。

※舗装道の復旧は、タイプ別の本復旧を標準とするが、現場状況により仮復旧止めとすることができる。

※砂利道の復旧は、発生土埋戻しとし、砂利復旧とする。

※h (試掘深さ) は、地下埋設物を確認できる深さ(埋設物の下面まで)とする。

※ $h \geq 1.5\text{m}$ の場合は、山留工を検討する。